

道志村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。
この地に生きることに誇りをもち、平和な村
を築くため、ここに憲章を定めます。

私たちは

- 一、自然を愛し平和な村をつくります。
- 一、生産に励み豊かな村をつくります。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め、文化の村をつくります。
- 一、人情といたわりの心を養い、福祉の村をつくります。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくります。

どろうし

平成25年1月号



12月13日に保育所で、もちつき大会がありました。
青空のもと、みんなでもちつき！！
自分より長いきねで一所懸命もちつきです。

Contents

- P 2 村長新年のごあいさつ
- P 3 特集 元気いっぱい道志の子どもたち
- P 4 景観計画について
- P 5 成人おめでとう／医科診療所事務員募集
- P 6 冬の省エネ／住民基本台帳状況の公表
- P 7 確定申告について

- P 8 診療所だより
- P 9 学校だより
- P 10 読書感想文コンクール 知事賞受賞
- P 11 お知らせ
- P 12 道志村トピックス

新年のごあいさつ

道志村長 大田昌博



平成25年の新春を迎え、村民の皆様にはご健勝にて輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶びいたします。

本年は巳年です。巳には新たな出発という意味があるとされています。蓄えたものをうまく実らせるそんな出発となるよう、村民の皆様も、道志村も本年が希望に満ちた出発の年になりますよう年頭にあたりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますとグローバル経済が進展するなかで、EUの経済情勢の悪化、新興国の成長鈍化など世界的な景気低迷が続いています。特に日本経済は円高デフレなどもあってかつての勢いに陰りも見え、一人あたりでは世界トップクラスであるとは言えず、GDPも中国にも抜かれ世界第3位と落ち込んでおります。外交的にも尖閣、竹島に見られるように安定感のある国際関係が築かれていないと言えない状況であります。国内的には、原発事故、中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故など、日本の安全神話も打ち消され、高度経済成長期のインフラ整

備の保守と更新が今後の大きな財政負担に繋がる懸念が懸念されています。

昨年暮れの総選挙の結果を受け、自民党を中心とした「危機突破内閣」が誕生したことで、原発、TPP、消費税等、国の将来を左右する大きな課題に突破口が開かれ、再び世界に誇れる日本の地位の確立が期待されることとあります。

新政権は、国土強靱化やインフラレタゲット等の経済対策を打ち立て景気回復のための大型補正も予定しているところと見られます。本村においては、持続可能な村づくりに向けて、国の変化に柔軟に対応しつつその実現を図っていきたいと思っております。

また、道志村の長年の懸案でありました国道413号のバイパス化トンネルも本年には事業化へと進む旨の報告がありまして、関係各位には心から感謝申し上げます。

この大きな事業への道のりには、地域の皆様のご理解とご協力、新旧議会の皆様のご尽力、そして多くの関係者と村民の熱意あるご支援の賜物と心得ておりまして、改めて感謝を申し上げます。本トンネルが完成しますと、より早く圏央道への交通が可能となり、さらに将来的にはより近いリニア駅へのアクセスも可能ですので、交通環境は飛躍的に改善され、私たちの生活圏も拡大し、生活そのものも変化して行くものと思われれます。

本年は富士山の世界遺産登録も予定されています。首都圏からの観光的な道路として多くの方の利用も見込まれます。また、通勤面、防災面、日常生活面等、本村にとって将来にわたり明るい展望の開けるものであると思っております。今後は、一日も早い完成に向けた努力をして参りたいと思っております。

さて、一昨年の東日本大震災の甚大な被害、台風12号、15号による集中的な自然災害の発生、本村においても経験のないような自然の猛威が襲来いたしました。また、昨年は大きな被害はなかったものの台風、集中豪雨等の発生で、災害の怖さを身近にしまして、改めて村民の命を守る責任を胆に銘じたところとあります。

このことから、最優先とする課題は「安心安全の村づくり」であります。そのための事業を積極的に進めて行きたいと思っております。特に、本村にとって財政的に有利な事業であります「農村災害対策整備事業」の導入が決定され、本年から5年間にわたって土砂崩落防止、緊急避難路、防火水槽等の防災事業を各地区に整備して参ります。また、引き続き防災対策として、避難所の耐震化と非常用電源設備、防災倉庫の整備、備蓄品の充実など防災力を強化して行きたいと思っております。

また、昨年10月には道志村が「日本でも最も美しい村」連合に加盟を承認されました。フランスを発祥とするこの連合は北海道美瑛町はじめ全国49の自治体及び団体が加盟し、それぞれ個性豊かな美しい村づくりに取り組んでおります。

本村が地域資源としました「道志七里」「的確様」「おきゆうだい」は、四季豊かな溪谷美と水源美及び伝統文化が評価されての加盟承認です。昨年より取り組んでおります「景観計画」の策定と合わせまして、道志村のブランド価値を更に高めていけるよう村民との協働の村づくりとして、取り組みを推進して行きますのでご協力をお願い致します。

また、昨年は「道志の湯」もリニューアルオープンし、薪ボイラーを併設

して間伐材活用も兼ねた供給と需要の循環の仕組みを構築しておりますので、村民の皆様のご協力をお願いする次第です。

また、村施設の二連の指定管理者制度導入も「道志の湯」で二段落し、行政改革による民営化も一区切りついたところとあります。民営化によって得られる指定管理者からの使用料等は有効に活用すべく、2つの基金によって修繕用資金と村民への還元資金とに分け、積立、活用する仕組みを作り、昨年度は働く世代へのインフルエンザワクチンの接種助成として使用させていたいただきました。

また、昨年度、持続可能な村づくりの方向性を探るため、識者の皆さんと村民の皆様に参加をいただき開催しました「サステナブル水源会議」のご提言を下に、その実現に向けた取り組みを開始しております。本年度の「ふれあいトーク」におきましてもこの件についてご提案し、様々なご意見も頂いたところであります。

このことを踏まえまして、本村の持つ様々な資源を時代の価値観の中で更に掘り起こし、磨き上げ、活用し、環境に配慮しながら安心で安全な美しい村づくりを基本に、来年度以降の重点施策として自然エネルギーの活用、農林業の活性化、地域コミュニティの充実などを事業化するための取り組みを進めたいと考えています。

また、若者の定住化、働く場の創出、教育の充実、少子高齢化への対策など暮らしの場を充実する取り組みも進めて行きたいと考えています。

本年も道志村と村民の皆様に取りまして素晴らしい年になることをご祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。



学童保育クリスマス会

12月15日(土)にクリスマス会が開催されました。学童で少ない時間で練習をしていましたが、児童たちは上手に踊ったり歌ったりしていました。子どもも保護者も指導員みんなで楽しむことができ賑やかな一日になりました。



みんなで一緒に決めポーズ！！



ツキまつらげ♪まつけまつげ♪



スーパーボーイフレンド♪

料理で世界一周の旅に出よう！！

12月8日(土)小学校調理室で、親子料理教室を実施しました。今回の料理教室は、『料理で世界一周の旅に出よう』テーマに料理を作りました。小・中養護教諭、食生活改善推進員4名も子供たちと楽しく他国の料理作りに頑張っていました。調理前は、お母さん方から『難しそう・・・家ではあまり作らないメニューだよね』との声もありましたが、子ども達と一緒にチャレンジしていると・・・「家に帰っても作れそう」と大好評でした。



料理メニュー

- タコライス(日本)
- チャプチェ(韓国)
- タラモサラダ(ギリシャ)
- クラムチャウダー(アメリカ)
- トライフル(イギリス)

親子料理教室



『こうやってやるんだよ』
料理っておもしろいね ^m^

道志村は景観計画を策定しています

～道志村景観計画の素案：道志村の景観形成の目標、考え方とは～

■景観計画の策定状況

- ・村内関連団体代表、学識経験者等で構成される「道志村景観計画策定審議会」の第3回を、11月26日に開催しました。
- ・審議会等を経てまとめた景観計画の素案を、村民の皆さまにご説明し、ご意見を伺う説明会の開催を予定しております。日時等が決まり次第、お知らせ致します。

1. 道志村の景観形成の目標

先月号までに、道志村の景観の特性や課題について考えてきました。人と自然との共生により成り立っている道志村の景観を踏まえ、次のような「景観形成の目標」を検討しています。

昭和初期の道志村に見られた、人と自然が共生する村の風景づくりの作法を探索・共有・継承し、新たな風景を創出する

かつて村民の日常の営みが自然と共生していた「昭和初期」に着目し、当時の景観づくりの作法（暗黙のルール）を探索し、村民が理解を深め、共有し、将来に継承し、「美しい村」にふさわしい新たな風景を創出することを目標とします。



過去の道志村の風景写真

川岸は山地の自然景観と連続し、川には巨石が散在するなど、多様な景観が展開しています。

2. 景観形成の考え方

道志村の景観構造を踏まえて、道志村景観計画において、下図の3つのエリアごとに、景観形成の考え方を定めます。

山地上部・奥山エリア（保安林指定区域）

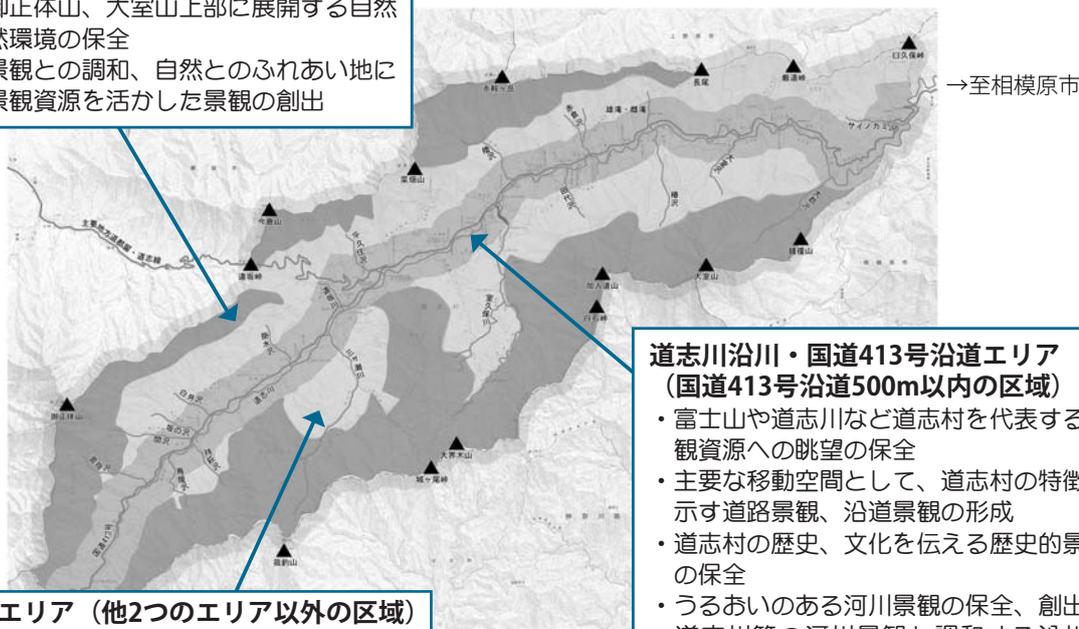
- ・道志山地、御正体山、大室山上部に展開する自然性の高い自然環境の保全
- ・奥山の自然景観との調和、自然とのふれあい地における自然景観資源を活かした景観の創出

田園背景山地エリア（他2つのエリア以外の区域）

- ・集落周辺の里山景観の保全
- ・道志村の歴史、文化を伝える歴史的景観の保全

道志川沿川・国道413号沿道エリア（国道413号沿道500m以内の区域）

- ・富士山や道志川など道志村を代表する景観資源への眺望の保全
- ・主要な移動空間として、道志村の特徴を示す道路景観、沿道景観の形成
- ・道志村の歴史、文化を伝える歴史的景観の保全
- ・うるおいのある河川景観の保全、創出
- ・道志川等の河川景観と調和する沿川集落、観光レクリエーション地の形成



素案がまとまった段階で、村民の皆様に向けた説明会・意見交換会の開催を予定しています。皆様のご意見を、景観計画に反映していきます。ご参加お待ちしております。

成人おめでとうございます

日時 平成25年1月13日(日)

午後1時 開式

場所 水源の郷やまゆりセンター

成人式は式典・成人者のスライドショーの上映・
新成人の抱負・恩師からのメッセージ・記念写真の
撮影等が行われます。成人式を迎えられる方々は次の
とおりです。

佐藤 毅	大野	佐藤 芽衣	久保
佐藤 真実	大室指	佐藤葉瑠香	馬場
諏訪本 樹	東和出村	佐藤 有里	西和出村
佐藤 勁介	大指	佐藤 真理	大指
山口 悠介	下中山	渡辺 美優	下中山
佐藤 儀樹	上中山	渡辺 司	上中山
杉本 有華	下善之木	池谷 千明	下善之木
水越 貴大	下白井平	池谷まりな	長又

成人式に関する問い合わせ先

道志村教育委員会

☎ 52・1020



道志村国民健康保険医科診療所 臨時職員募集のお知らせ

道志村国民健康保険医科診療所の職員を以下の要件で募集いたします。

募集要件

- 職務内容** 診療報酬等請求に係る医療事務、その他医科診療所事務全般
- 募集人員** 1名
- 募集対象** 医療事務の経験者、もしくは同等の資格・能力を有する者
- 採用形態** 臨時職員
- 給与・各種手当等** 時給780円 通勤手当(通勤距離により支給)(社会保険・雇用保険加入)
- 勤務地** 道志村国民健康保険医科診療所
- 勤務時間** 全日:月・火・木・金(8:30~17:00まで) 12:00から休憩(1時間)
半日:水・土(8:30~12:00)
※祝祭日を除く
- 採用時期** 平成24年4月1日~平成25年3月31日まで
※尚、平成24年3月から事前研修があります
- 募集期間・応募方法** 募集期間:平成25年1月4日(金)~平成25年1月25日(金)
応募方法:履歴書を道志村役場住民健康課までご持参下さい。
- 選考方法** 書類選考の上、後日面接日を決めます。
- 問い合わせ先** 道志村役場 住民健康課 国民健康保険担当 山口 直通 0554-52-2113



■電気の上手な使い方（冬の省エネ）

■ こたつの掛けは2枚に

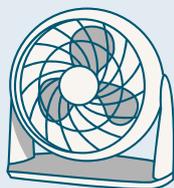
掛け布団を2枚にすることで、熱が逃げにくくなります。さらに敷き布団の下に断熱効果のあるマットなどをもう1枚敷くことも効果的です。掛け布団・敷き布団各1枚と各2枚のときを比較した場合、各2枚にすることで4時間の使用で消費電力量が約17%削減されます。

■ 電気カーペットの下に断熱効果のあるマットなどを敷く

電気カーペットの下に断熱効果のあるマットなどを敷くと、カーペットの熱が床に逃げにくくなります。室温が安定している状態では、何も敷かなかった場合と比較して、15分間の使用で消費電力量が約10%削減されます。

■ 扇風機・サーキュレーター・シーリングファンの活用

暖かい空気は上昇するため、効率よく部屋を暖めるにはエアコンの風向きを下に向けましょう。扇風機やサーキュレーターは、強風モードでもエアコンに比べ消費電力は小さいので、天井に向けて使用し、天井にたまりがちな暖気を下に循環させることで、暖房効率が上がります。シーリングファン（天井扇）も同じ効果があります。



寒い脱衣所やトイレではすぐに暖まる電気暖房を

寒い季節に入浴するときなどは、暖房のあるリビングと暖房のない脱衣室・浴室との大きな温度差により、身体に負担がかかり、特に高齢の方にはヒートショック（※1）を起こしやすい環境となります。健康も考え、極端に寒さを我慢することは控えましょう。寒い脱衣所やトイレなどの狭い空間を暖める時は、パネルヒーターや小型の電気ストーブなどを活用することもおすすめです。

※1「ヒートショック」とは：急激な温度の変化が身体に及ぼす影響のことを「ヒートショック」といいます。特に高齢の方や高血圧の人などが起こしやすく、心筋梗塞・脳梗塞・脳出血など深刻な事故につながる場合があります。

★冬の省エネのご案内

東京電力では、今冬についてご協力いただいている節電の効果などにより、電気の安定供給を確保できる見通しです。引き続き無理のない範囲で『節電』へのご協力をお願いします。

※電気の上手な使い方や簡単でんき家計簿など、節電・省エネ方法も詳しく紹介しています。お気軽にお問い合わせください。

東京電力のホームページ

URL：<http://www.tepco.co.jp/>

電話番号 0120-995-882

■住民基本台帳閲覧状況の公表

住民基本台帳法第11条第3項及び第11条の2第12項、住民基本台帳の一部の写しの閲覧及び住民票の写し等の交付に関する総務省令第3条の規定に基づき、公表します。

（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

年月日	閲覧申請者	委託者	閲覧事由	閲覧の範囲
H24.1.26	(株) 流通研究所	山梨県知事	「人権に関する県民意識調査」の対象者抽出	村内全域 20歳以上の男女15名
H24.7.3	(公益財団法人) 山梨総合研究所	山梨県知事	「県民意識調査」の対象者抽出	村内全域 20歳以上の男女10名
H24.9.5	教育庁社会教育課 青少年保護育成担当	山梨県青少年総合対策 本部長山梨県知事 横内正明	「青少年の意識と行動に関する調査」の対象者抽出	村内全域 H24.4.1 現在、18歳から 30歳までの男女5名

確定申告のお知らせ

所得税の確定申告の相談、申告書の受付及び納税の期限は、2月18日(月)～3月15日(金)までですが、還付申告は、1月4日(金)から提出することができます。

贈与税は、2月1日(金)～3月15日(金)までです。

個人事業者の消費税及び地方消費税は、1月4日(金)～4月1日(月)までです。

※口座振替をご利用の場合の振替日は、所得税が4月22日(月)、消費税及び地方消費税が4月24日(水)です。

※提出期限間近になりますと、税務署は大変混雑いたしますので、申告はお早めをお願いします。

国税庁ホームページ【www.nta.go.jp】では、確定申告に必要な各種情報等を提供しています。

- ホームページ内の「確定申告書等作成コーナー」で入力した申告書データに電子証明書を添付して、そのまま送信(提出)することができるe-Tax(イ・タックス)があります。e-Taxをご利用いただくためには、所定の手続が必要ですので国税庁ホームページをご覧ください。
- また、「確定申告書等作成コーナー」で入力し、プリントアウト(白黒でも可)した確定申告書等は、そのまま税務署に提出することもできます。
- なお、国税庁ホームページでは、確定申告書のほかにも税務に関する主な行政手続についての申請・届出書様式を提供していますので、是非ご利用ください。申告書の提出は、郵便又は信書便による送付をお願いします。税務署からは、申告書の提出後に、納付書や納税のお知らせは送付されませんので、申告により納付すべき税金は、納付期限(=申告期限)までに納付書により、最寄りの金融機関の窓口もしくは税務署窓口で納税をお願いします(口座振替を除く)。

※「納付書」は、税務署及び金融機関にご用意してあります。

確定申告の相談会等のお知らせ

- 平成24年分の収入金額・必要経費・所得金額のわかるもの、源泉徴収票、国民健康保険の領収書、国民年金保険料及び国民年金基金の掛金の支払をした旨を証する書類、生命保険料・地震保険料・寄附金等の各種控除の支払をした旨などを証する書類、申告書が税務署から送付された方はその申告書
- 平成23年分の申告書・収支内訳書等の「控」
- 「印鑑(認印)」、「計算器具」、「筆記用具」など
- 還付申告の方は還付金の振込先金融機関名・預貯金種別・ご本人の口座番号がわかるもの

会場	確定申告書作成相談会		税理士会が行う無料申告相談	
	開催日	時間	開催日	時間
都留市役所	2月1日(金)	10:00～12:00	—	10:00～12:00
富士吉田市民会館	1月31日(木)	13:00～16:00	2月5日(火) 2月6日(水)	13:00～15:00

■「確定申告書作成相談会」では、申告書作成のためのアドバイスと申告書の受付を行います。

■「税理士会が行う無料申告相談」は、小規模納税者の方の所得税及び消費税、年金受給者及び給与所得者の方の所得税の申告を対象としております。

土地、建物及び株式などの譲渡所得のある方や所得金額が高額な方又は収入金額が多額な方、相談内容が複雑な方は、ご遠慮ください。

お分かりにならない点や詳細については、お気軽に税務署にお問い合わせください。
(下記に電話していただくと「電話センター」につながりますので、その後は自動音声に従ってください。)

大月税務署 ☎：0554-22-3151

●税理士による年金受給者及び給与所得者に対する無料相談のお知らせ●

日時：2月22日(金) 10:00～16:00 会場：富士吉田市民会館

対象者：公的年金等受給者で所得税確定申告書を提出する方

年金受給者及び給与所得者で医療費控除の還付申告書を提出する方

※土地、建物及び株式などの譲渡所得のある方は、ご遠慮ください。

問合せ先：東京地方税理士会大月支部事務局 TEL 0555-22-8481

診療所だより



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今回は胃カメラに関してお伝えしたいと思います。

当診療所においては毎週火曜日に事前の予約の上で胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）を行っています。胃カメラを行う際には胃の動きを抑える薬を使用しなくてはなりません。今までは筋肉注射を肩にうっていました。もちろん筋肉注射は痛いので患者さんには我慢してもらっていました。ところが「ミンクリア」という新しい薬が出たことにより筋肉注射をせずに検査することができるようになりました。

具体的にはのどの麻酔が終了した後にはまず胃カメラを飲んでもらいます。カメラを胃の中に進めたところで胃カメラを通じて直接胃の中にミンクリアという薬を振り掛けることで胃の動きを抑えます。たった、これだけです。

特に重大な副作用はないのですが薬の成分の中にミント（はっか）が入っているのでアレルギーがある人であれば使用することができません。また、中には検査終了後になんとかミントの香りを感じる人もいますようです。

もしも、今まで筋肉注射が嫌で胃カメラを避けていた方がいましたらこれを機会に受けてみてはいかがでしょうか？

ただし、どうしても病院・診療所によって方法が異なりますので、他の医療機関で胃カメラを受ける時に「村の診療所では筋肉注射しないようだけど」と言ってスタッフの方を困らせないようにお願いします。

1月の予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
12/30	12/31 休診	1/1 休診	1/2 休診	1/3 休診	1/4	1/5 午前中のみ診察
1/6	1/7	1/8 午前：胃カメラ	1/9 研修のため休診	1/10	1/11 中学校健診	1/12 午前中のみ診察
1/13	1/14 成人の日	1/15 休診	1/16 研修のため休診	1/17	1/18	1/19 午前中のみ診察
1/20	1/21	1/22 午前：胃カメラ	1/23 研修のため休診	1/24	1/25	1/26 休診
1/27	1/28	1/29 午前：胃カメラ	1/30 研修のため休診	1/31	2/1	2/2 午前中のみ診察

月始めには保険証の提出をお願いします。

● 1月11日は中学校健診のために医師不在の時間があります

学校だより 道志小学校

第64号

心を豊かに 「ミニ音楽集会」

昨年度から情操教育の一環として、朝の「七里つこタイム」を利用してミニ音楽集会を実施しています。10月は1・2年生、11月には4・5年生、12月には3・6年生が発表しました。ふだんの音楽の授業で取り組んでいる合奏と合唱を発表しました。全校の前での発表なので、子どもたちは緊張しながらも練習の成果を十分出し切って発表できました。中でも4・5年生は合同発表でボディーパーカッションを新たに取り入れました。どの学年も堂々と発表できました。



た。今後は、発表の機会を増やして、もっともっと音楽が好きになってほしいです。



来年はわたしたちが… 「児童会選挙立会演説会」

来年度の児童会役員を決める選挙の立会演説会が11月27日に開かれました。



どの候補者も自分の考えや方針をしっかりと伝えるように、真剣な表情で訴えていました。来年の道志小を引っ張るリーダーとしてがんばって欲しいです。

「生活習慣を見直して肥満を予防しよう！」 保健集会

11月28日「生活習慣を見直して肥満を予防しよう！」をテーマに保健集会が行われました。集会では、保健委員会の子どもたちが道志小の実態をもとに、劇やパワーポイントで「お菓子の正しい取り方」について説明したりしました。

保健委員会の子どもたちは低学年でもわかるように発表の仕方を工夫し、一人ひとりが自分の生活習慣を見直すともよい機会になりました。



緊急地震速報受信システムによる避難訓練「震度6強」あと5秒

12月17日、今年度道志小・中学校に試験的に設置された緊急地震速報受信システムによる避難訓練を行いました。今回は、震度6強の地震が5秒以内に来てその上、プレイルームから出火し、職員は教室にはいない想定で、加えて外は雨の状況ではない想定で、そのため、地震発生時には、子どもたち一人一人の判断で避難することになり、避難経路も正面玄関は使えず、非常階段を使って避難しました。しかし、このような訓練も何度かしているせいか、学年問わず「おはしも」を守り、しっかりと体育館へ素早く避難することができました。地震がないのが一番ですが、このような緊急事態に備えて、日々意識を持って生活したいものです。



第58回 県青少年読書感想文コンクール

中学校の部 知事賞受賞
道志中学校2年 佐藤 俊基くん

小中学校計4部門に県内279校から30,955点の応募があり、16人が入賞。佐藤俊基くんは中学校の部で、漫画家の手塚治虫さんが画法や自身の半生をつづった本『マンガの描き方～似顔絵から長編まで』の感想文でみごと大会の1位にあたる知事賞を受賞しました。



普段から本は大好きで、図書室・本屋さんに通っています!!

俊基くんに話を伺いました!!

- ① この本との出会いは？
題名が気になり、手に取り、内容を見て読みたくなりました。
- ② 感想文を書く時の注意点
自分の心で感じたことを率直に言葉で表現しています。それが、より人に伝わり響きやすいと思います。
- ③ 本との出会いで何がかかった？
自分自身、大きな影響を受けました。自分らしさとはどういうことか・・・そして、これからの生き方が見いだせたと思います。

★俊基くんの受賞作文を紹介します。★

「自分らしさとは何だろうか。」

私の心に、光を差し込んでくれた人物がいる。その名は「手塚治虫」。もし、「マンガの描き方」というこの本に出会っていなければ、私は一生心の中でさまよっていたと思う。

絵を書くことが好き。私は、保育園に入る前から暇さえあれば絵を描いていた。小中学校の図工や美術の授業では、一時間一時間が待ち遠しく、授業になればわくわくした気持ちでいっぱいだった。そんなある日、美術の授業で絵を描き終わった時に私は、「自分らしさがないなあ。」と思うずいぶやいた。そこでこの夏、尊敬する手塚さんの「マンガの描き方」という本を手にとった。

という本を手にとった。

私は今まで何百冊という本を読んできた。考えてみると、それらの一冊一冊には作者独特の「自分らしさ」が表現されていて何度読んでも飽きない。しかし、その中でも一番「自分らしさ」を追及していると思うのは、「鉄腕アトム」や「火の鳥」などの作者「手塚治虫」さんだと思っている。

読み進めると「物語の考え方」という項目の中に、考えさせられる文章があった。

「ある時町を歩いていると米兵に道を聞かれた。相手は六人でかなり酔っぱらっているの、何を言っているかわからない。僕は、「自分は英語を話せない」と言ったらつもりが、このとき相手からいきなりなぐられた。「この時、大声で笑いながら去っていった米兵への屈辱は今でも頭から消えないで残っている。」と記してあった。

「絵が好きで好きでたまらなかった」という気持ちで生活していた手塚さんが、いきなり殴られた事を聞き、私も許せない気持ちでいっぱいになった。しかし、このことが手塚さんの作品の根本的なエネルギーになっていくことを知った。

それは、人間同士のトラブル、偏見、コンプレックス、誤解、それに暴力による解決への怒りや悲しみなどである。

手塚さんは強い「問題意識」をもって表現していたのだ。例えば「鉄腕アトム」では、人間対ロボットの葛藤を描いていたのである。私は夢中になって読んで、「人間のロボットに対する侮蔑と差別であり、優位に立った者の行動に対する、疑問でもあるのだ。」鉄腕アトムについての手塚さんの言葉だ。

そこに表現されるのは未来社会のバラ色の生活でもなければ科学万能の夢でもない。しいたげられたロボットのコンプレックスと自覚。この両者の間で人間でも機械でもない、アトムという少年の悩みを描いていたのだ。僕は衝撃を受けた。「自分の絵に

自分らしさがない」とは、「絵を通して何かを訴えようとする気持ちがないのではないか」と思ったからだ。さらに読み進めると、「社会の問題、家庭の問題、個人的問題。テーマは何でもよいから、自分の中にいるいちばん表現したいものを描いてみよう」とあった。自分らしい絵の表現。教室や部活動での自分らしい言葉の表現。僕は学年太鼓のリーダーとしても悩んでいた。しかし、私は、「ここで本音を言ってしまうのはみんなに悪いのではないか、人間関係も壊れてしまうのではないか」と表現することを迷っていた。しかしこの文章に出会い「誰もが不平や不満は持っている。しかし、私の問題意識は、「こうすればもっと良くなる」という希望だ。まずは、自分の思うことを言えば良いのではないか」と思えた。

そしてさらに、手塚さんはこう語ってくれた。「手塚さんの漫画は、品がよすぎる、おとなしすぎるという批評がかなりある。しかし、それは自分でも良く知っている。でも、戦後は僕の漫画でも、こぎつすぎる、くさみが多すぎる、派手すぎると酷評されていた。三十年の評価の変化に感慨無量です」と。

人は様々なことを言う。また、人の評価は変わるものだ。情熱をもち、信念をもって自分の思いを自分の言葉や絵で表現することが一番重要なのではないかと思えた。

最後に「手塚治虫」さんは「漫画」に対してこう語っている。「漫画は誰にでも書けるものだ。」まるで当たり前のような事のようにだが、この言葉はとても重要だと私は感じた。なぜならば、「誰にでも描ける」「誰でも自分らしさを表現できる」と言っていると考えたら、勇気が出てきた。悩んでいた太鼓演奏の後で「一生懸命だったね」と多くの人に評価された。絵や言葉には、「個性」や「自分らしさ」はつきりと表れるものだ。私はこのきっかけを絵でも表現したい。「自分にしか描けない絵」を問題意識をもって追い求めていきたい。

子育て

1月のつぼみっくくらぶ

◎お正月の団子作りと切り絵に挑戦!!
学童と合同です。つぼみっくこのご兄弟も参加して下さい。

日時 1月8日(火)

午前10時～午後3時

場所 馬場「つどいの家」

内容 正月の団子作り・切り絵等

*昼食を一緒に食べ、その後切り絵をします!

◎キッズ・ヨガに挑戦!

日時 1月22日(火)

午前10時

場所 馬場「つどいの家」

講師 加藤慶子先生

持物 バスタオルかヨガマット

*動きやすい服装でお出下さい

お問い合わせ

役場住民健康課保健師(伯耆)

☎52・2113

募集

第42回信玄公祭り

ボランティアスタッフ募集

日時 4月6日(土)

①会場整理・運営・午後3時～8時

②運行補助・午後1時～8時

③祭り案内業務・5日(金)

午後3時30分～7時30分または6日

(土) 午前9時30分～午後5時30分

④救護補助・午後3時～8時
募集人数

①会場整理・運営(80人)

②甲州軍団運行補助(30人)

③祭り案内業務(20人)

④救護補助(10人)

※いずれも原則として18歳以上の方
応募方法 はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話、希望する業務(③の祭り案内業務は希望日も)、過去の経験有無を明記の上、〒400-0031甲府市丸の内1-8-17信玄公祭り実行委員会ボランティア係まで送付。FAX、Eメール(yoka@yamakan-kyo)も可(3月11日(月)必着)。

問合せ

道志村役場産業振興課

☎0554・52・2114

申込問合せ

信玄公祭り実行委員会

☎055・231・2722

FAX055・221・3040

学ば

能力開発セミナー訓練生募集

〈ホームページ開設〉

日時 3月4日(月)～12日(火)

の6日間、午後6時～9時

対象者 パソコンを使用した文書作成のできる方

受講料 2100円

受付開始日 1月4日(金)

〈初心者のためのパソコン講座②〉

日時 3月14日(木)～19日(火)の

4日間、午後6時～9時

対象者 パソコンをはじめて使う方

等

受講料 2100円

受付開始日 1月15日

◆問合せ先

県立留高等技術専門学校

☎0554・43・8911

Fax0554・43・8912

◆申込 定員があり先着順、規定用紙記入しfaxかまたはHPより電子申請ができます。

2級土木施工管理技士講座

講習日 7月中旬から18日間

時間 午後6時から午後9時

対象者 2級土木受験資格該当者

受講料 訓練校会員30,000円

会員外 33,000円

※テキスト代、願書代別途

締切 3月15日(金)

◆問合せ先

富士吉田職業訓練協会

☎0555・22・5214

お知らせ

『あなたの会社は大丈夫?』

◆高年齢者雇用安定法改正の
お知らせ

平成25年4月1日から年金支給開始

年齢引き上げに合わせ、事業所は希望者全員を65歳まで雇用する制度を導入することが原則として義務化されます。詳しくはハローワーク都留☎0554・43・5141まで問い合わせて下さい。

1月10日は110番の日です

110番の日は、県民の皆さんに「110番の仕組み」や「正しい利用方法」について知っていただくために定めたものです。

★合言葉は・・・

1 いち早く

1 急がず慌せず

0 冷静に

◎110番は、県内どの地域からかけても、警察本部指令課につながります。

◎110番を掛けると

何があったのか、いつ、どこで、犯人は、けが人は・・・などと尋ねますので、落ち着いて話して下さい。

◎緊急以外の事件・事故、相談ことは

大月警察署 22・0110

警察本部相談室 #9110

※いたずら電話や間違い電話が増えています。緊急の事件、事故の通報に支障をきたしますので、正しく利用して下さい。

『元気で生き生き!!』 介護予防教室

12月11日、70歳以上の方を対象に、元気で生き生きと生活していく為の教室を開催しました。60名ほどの参加者が食事で摂るとよい食品・手先を使う新聞紙をちぎる運動・飲み込みをよくするパタカラ体操など勉強しながら笑いあふれる時間を過ごしました。昼食時には道志村食生活改善推進員の方が「地産地消・減塩のテーマ」でクレソン蒸しパン・ゆず入り浅漬けを用意しました。「ここに来ると若返る」と参加者から感想が聞かれていました。

講師の渡辺ますみさん!(^^)!
いつもみんなを笑顔にしてくれます



「日本で最も美しい村」 連合加盟記念講演会

12月12日、やまゆりセンターにおいて『グローバル時代における、土地制度の課題』と題し、東京財団研究員兼制作プロデューサーの吉原祥子氏を招き、記念講演会を開催しました。現在、問題視されている森林買収について、そして、時代の変化に制度が対応できておらず、土地売買や利用実態を行政が把握しきれない・・・など、土地制度について、分かりやすく講演していただきました。道志村の森林保全には、多くの方々の協力が必要となります。いろいろな視点から見出す問題点の一つであると、参加者の方々は耳を傾けていました。

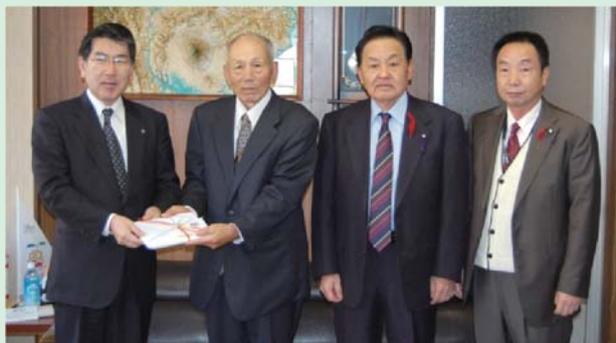


村民ゴルフ大会から寄付金

11月11日、第22回道志村民ゴルフ大会が、鳴沢村で道志村内外から、51名の参加を戴き盛大に開催されました。

大会では、例年チャリティーホールで募金を募り、村の各種団体に寄付しています。

今年は、44,000円が募金され、大会役員会議で、道志村社会福祉協議会に寄付することを決定し、12月12日杉本大会会長、水越副会長並びに出羽副会長より、村長に手渡されました。



歯っぴい山梨8020達成者表彰

80歳で20本以上の歯を保ち、豊かな食生活を楽しんで健康な高齢時代を過ごそう！！

自分の歯が20本以上残っていれば、自分の歯でほとんどの食品を食べることができ、健康を維持するのに大いに役立ちます。

今回、ふれあいサロン開催時に達成者を表彰しました。表彰者は次のとおりです。

山口金吾さん(89歳) 自分の歯 24本
佐藤 昭さん(81歳) 自分の歯 24本
渡辺隆経さん(81歳) 自分の歯 29本



健康で元気でいられる秘訣は『歯』ですね！

第7回「いきいきふれあいトーク」を開催しました

11月12日から20日の7日間、村内の地区公民館等を利用し、地域の身近な問題（道路問題、河川の水質、農業の振興、雇用の場の創出、少子高齢化への対策、公共交通の確保等）について率直に話し合っていました。ご意見について、早期に実現できるよう取り組んでいきたいと考えております。

今年度の参加者は71名でした。協働による自治体運営を推進していくためにも、一人でも多くの村民が知恵を出し合い、より良い村づくりを進めていきたいと思っております。今後共ご理解とご協力をお願いします。



久保みなもと体験館での様子

善之木地区で「お茶のみ会の忘年会」が行われました

12月18日、善之木地区お茶のみ会をバージョンアップして忘年会を行いました。

心のこもったおいしい手作り料理に舌鼓をうち、認知症の勉強会・ビンゴゲーム・歌の鑑賞や合唱など盛りだくさんの内容で笑いわとともに、脳も刺激を受けて若返りのしわが刻まれたことと思っております。

この事業は世代を超えて安心して暮らせる村づくり事業の一環で行われています。

来年も ^m^
あつまるべえな！



わが家のアイドル

山口 優ちゃん(中神地区)

平成22年11月5日生
父 博信さん 母 咲子さん



慶 弔

(11月届出)

お誕生おめでとう (出生)

下白井平 水越 大翔くん

(届出人) 水越 歩

ご結婚おめでとう (婚姻)

上 中山 佐藤 壮馬さん
富士吉田市 渡邊さつきさん

お悔やみ申し上げます (死亡)

月夜野 湯川 末さん 93歳
椿 佐藤 尊司さん 81歳

戦争経験を語る

これまで歩んできた道。

そして今も忘れることはない戦争経験

月夜野地区 佐藤一教さん (91歳)



第二次世界大戦 (太平洋戦争)

1941 (昭和16) 年~1945 (昭和20) 年8月、西南太平洋・東南アジアを中心に日本とアメリカ合衆国・イギリス・オランダなど連合国との間で行われた戦争。

この戦争での犠牲はおおよそ310万人、その内、兵員は230万人。多くの尊い命が奪われた戦争です。

『自分の話が役に立つかどうか』そう言いながら一教さんは実体験を話してくれました。

実際経験された方のお話は、何よりも心に残りこれから、私達が受け継がなければならぬのだと思いました。

はなかったかもしれない。戦場での行動は『紙一重』で生きるか死ぬか。生きて帰ってきた証に、今も右ふくらはぎには深い戦争の傷が残っています。

一教さんは戦地に赴くにあたり、国の為でもあったが、やはり両親の為であったと話してくれました。『郷土の面木思い』という言葉もあるが、『お母さん』と言ってから死ぬ人は、まだ幸せだったと思う。その言葉も出ずに力尽きて死んでいく人を多く見てきた。攻撃されながら、けがをした人は置いていくしかない。もともと食事もとらずにいる中で体力もない状態、置いてきた人はどうしただろうか・・・と、戦友のことを思うと胸が痛んだ。戦場にいたからこそ感じる思いです。

一教さんのお話を伺い、戦争は他人事に思っているはいけないのだと感じました。物の豊かな日本に生まれ、あまりにも戦時中とかけ離れた生活を送っている今日。あることが当然、今生きている事があたり前。平和な日本に生きていることの大切さ。普通な事が、本当は普通ではない事。自分たちは幸せな時代に生きているのだと、あらためて痛感しました。

一教さんは8人兄弟の四男として大正10年に、月夜野地区で生まれ大家族の中で育ちました。その当時は30世帯程の家が立ち並び、どこの家もたくさん子どもがいて、にぎやかだったそうです。

そんな中、第二次世界大戦がはじまります。一教さん自身も21歳で徴兵検査を受け、甲府連隊(陸軍第一師団歩兵第49連隊)に所属し、まもなく満州に向かいました。

そして昭和19年11月に激戦地であるフィリピンレイテ島に衛生兵として上陸。当初、情報のあったレイテ島の状況とは全く違い、米軍はレイテ島へ向かう船を撃沈させ、島に上陸しないまま死んでいく人も多かったといえます。更に軍用品、食糧などの運搬を断たれ、状況は悪化の一途をたどっていました。

戦いの相手は米軍だけでなく、自然環境や食糧不足と言った心身共に耐えがたい状況との戦いもありました。レイテ島はスコールが多い地域であり、連隊は山々を移動する為、水浸し。カッパは支給されていても、あまり役に立たなかったといえます。更にはマラリアにかかり亡くなる人、南方潰瘍という、足のすねに、小さなできものが化膿し、崩れた傷口が次第に広がり、しまいには骨が見えるような穴が開く。一教さん自身も、南方潰瘍にかかり、今でも足に跡が残っています。

衛生兵として、負傷した人を手当したくても薬がなく、餓えに苦しむ人がいても食糧を出すことすらできない・・・前線で戦う兵士と同様に、戦地に身をおくことの辛さは図り知れません。

一教さんがもっとも命の危険を感じたお話です。上陸後、第一線で戦い負傷した兵士を、治療のため後方二カ所にあつた野戦病院に移動する際、かばんに砲撃を受けた時、あと一歩で死んでいたかもしれない・・・そして、ゲリラに襲われる可能性がある為、ほこらに逃げる人と、一教さん達は竹やぶに逃げるよう命令されていた。その時、ほこらの前の河原に砲撃され、破片や火がほこらに入り、犠牲者が出た。もし、そのほこらに逃げていたら死んでいたかもしれない・・・更には、砲撃の破片が右のふくらはぎに入り、それを取るのに5人がかりで抑えられ、足の中を鉄の棒でかきまわしたが、取れず何度も繰り返し、ようやく取れた時、取ってもらえずにいたら右足



この広報紙は、環境に配慮して植物油インキを使用しています。

H24.12.1 現在 世帯数：627世帯 (外国人住民も含んでいます。) 人口：1910人 (男：966人 女：944人)



発行 道志村役場

〒402-0209 山梨県南都留郡道志村 6181-1

TEL 0554-52-2111(代) FAX 0554-52-2572

URL <http://www.vill.doshi.lg.jp/>